

「なんでもケアマネ」問題 ケアマネジャー座談会

差し伸べる手の重み、捉えなおそう 胸張って「いい仕事」と言えるように

ケアマネジャーが行っているボランティア業務について、実際に現場で働くケアマネジャーの皆さんに、実情と対応、所感について、実際の声を伺った。変わりゆく社会と変わらない制度、そして、利用者の生活が成り立つように、善意と犠牲、努力の元にボランティア業務を行っているケアマネジャーへの依存が浮き彫りになった。

取材協力 ▶



渡邊 純さん

介護相談センター オギンズ 管理者 主任介護支援専門員。ケアマネジャー歴20年以上。ケアマネジャーに従事しながら、個人的な活動としてケアマネカフェを開催。ケアマネジャーの離職防止や地域でのネットワーク作りに向けて、活動している。



山口則子さん

ケア工房ばれっと 管理者 主任介護支援専門員。ケアマネジャー歴13年。介護の仕事でてっぺんの仕事を指そうと、ケアマネジャーの資格を取得。「ひとりケアマネ」だが、関わっている事業所や多職種との連携を図り、ケアを充実させている。



根岸美緒さん

ケアプランニング ルーセント 管理者 主任介護支援専門員。ケアマネジャー歴10年。地域包括支援センターの地域介護予防事業担当として介護の業界に。ケアマネジャーの資格を取り、現在、独立型単独事業所の管理者をしている。



堀内亜樹さん

ケアプラングランモールさくら及川 介護支援専門員。ケアマネジャー歴6年。デイサービスの相談員に従事している際に、利用者を輝かせるケアマネジャーに憧れ、資格を取得。業務で悩む人を1人でも減らしたいと、ケアマネカフェ厚木を開設。

■ 誰もできない、知らない 宙ぶらりんな業務はケアマネに

——利用者や家族、行政や病院等が「なんでもケアマネジャー（以下、ケアマネ）」に」と依頼し、ケアマネジャーがボランティアで行っている業務があります。ただでさえ業務範囲が拡大し担当件数が増え、業務量が増加しているなかで、このボランティア業務は大きな負担になり、離職も招いているようです。皆さんが行ったことのあるボランティア業務には、どのようなものがありますか？

渡邊さん 私自身を含め多くのケアマネジャーが経験しているのが、利用者さんの病院受診の付き添い、買い物の同行、緊急時の訪問や対応、介護保険以外の行政の手続き、そして、ボランティア業務にあたるかは分かりませんが、24時間の電話対応等があります。

山口さん 民間の介護保険の申請書類の書き方が分からないとご家族にお願いされて、書類を記入しました。給付の対象になるか審査するための書類だったんですが、ADLや、ご家族と介護サービスの支援状況等を全て拾い上げ

て記載したり、記入項目がとても多く専門的な知識も必要なので、一般の人には書けないだろうと思い、お手伝いしました。記入には1時間以上かかりました。

根岸さん 処方薬を取りに行きあげるといっても、ケアマネジャーのボランティア業務としてよくあると思います。あと、訪問診療が入っている身寄りのない生活保護の方がご自宅で亡くなったとき、市の生活支援課に連絡したら、訪問診療の先生から死亡診断書を預かって、葬儀社の方が来るまでご自宅で待機しててくださいと言われて、1日ばかりずっと待っていたことがあります。心配した訪問看護さんが数時間一緒にいてくださったのですが、それ以外の時間は、エンゼルケアをされた利用者さんのご遺体と2人でした。時間的にも精神的にも、ものすごく負担が大きかったです。

堀内さん 身寄りのない方の住所変更や任意後見への繋ぎをしたことがあります。その方が任意後見の手続きをしてすぐに入院して、後見開始まで早くて半年以上はかかるので、身元引受人がいない状態で退院後をどうするのかという問題になりました。地域包括支援センター（以下、包括）も行政も動いてはくれたのですが、受入れができる事業所